

# 静脈認証技術の現状と展望

Current Status and Prospects of Vein Authentication Technology

FU Hao・暗号認証分科会・中央大学大学院

静脈認証とは 人体の皮膚下にある**静脈形状パターンに基づく**個人認証技術

- 特性:**
- 不可視性** 静脈は皮膚の下にあるもの
  - 唯一無二** 本人しか持たない身体的特徴
  - 安定性** 年齢変化と皮膚上の汚れの影響を受けず
  - 非接触** 機器との接触必要なく、衛生面・心理的安心感が高い

## 利用現状

- 様々な分野で利用が**広がっている**
- 2020年11月に、**60カ国の9400万人**が使用中
- 認証機器の小型化と認識精度向上が進行中

銀行、オフィス、  
住宅、政府機関...

本人拒否率: 0.0001%  
**1万人程度で認証可能**

## 応用事例

みずほ現行は2006年8月より、静脈認証を二段階認証手法として、キャッシュカードの**偽造・盗難を防止できる**サービスを提供



## 将来の可能な応用例

### レジなし店舗

1. 商品を見つけ
2. バーコードをスキャン
3. 出口に静脈認証を行う
4. 設定された方法で決済
5. 買い物完了

### 富士通/ローソンレジなし実験店舗

<https://pr.fujitsu.com/jp/news/2020/02/18-1.html>

